

山梨県水産技術センター・研究課題事後評価表
山梨県水産技術センター課題評価委員会

(H25.8/23 開催)

試験・研究課題名: 富士五湖における漁業実態の解明

大課題名: 漁場の実態把握

小課題名: 富士五湖漁業実態の解明

細目課題名:

担当者名: 研究管理幹(忍野支所長) 大浜 秀規

評価項目	評価点	指摘事項
1 研究目標の達成度	5 / 5	富士五湖の漁業・流通・遊漁の実態を初めて明らかにしており、達成度は非常に高い。
2 成果の有用性 (普及性、波及性)	4 / 5	各漁協の経営・収入の違いや流通経路の確保、ブランド化が重要であることが明らかになっており、成果の有用性は高い。
3 研究の発展性	4 / 5	得られた有用な成果をどのように指導普及に活用していくのか、方針を明確にして頂きたい。また、継続的に調査を行って頂きたい。
4 研究課題選定の妥当性	5 / 5	山梨県の漁業振興に不可欠な情報であり、研究課題は妥当である。
総合評価	4 / 5	本研究成果をもとに各漁協に対して適切な指導普及業務を行って頂きたい。また、漁協間や観光、教育分野との連携を含めた包括的な漁業振興策についても是非検討して頂きたい。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

流通経路の整備や漁場の有効利用等については、漁業調整上の問題もあることから県行政との連携を図りながら検討して参りたい。